

こんな活動です

地域とともに歩む竹野小学校 ～竹野活性化委員会との連携～

活動名

竹野活性化委員会
竹野小学校学校支援活動

関係する学校名

竹野小学校

京都府京丹波町

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		0人	1人	36人	無	24年度	無	無	無
	地域未来塾	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携				
土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



- 活動の概要・経緯**
- 平成23年度に第1回竹野活性化検討会議（各区長、PTA会長、地元議会議員、校長等）が開かれ、今後の方向性を検討する。
 - 竹野小学校は、平成24年度に京都府教育委員会指定「土曜教育実践教育研究指校」を受け、地域と連携・協働しながら土曜活用を年6回実施したり、運動会を地域と一緒に開催したりする。併せて、平成24・25年度に京都府教育委員会指定「京の未来創造校」～学校・家庭・地域社会の連携協働の在り方～を受け、オープンスクール等に取り組む。
 - 平成25年度に竹野活性化委員会が設立され、平成26年度には、京都府教育委員会の指定は終わったが、「学校・家庭・地域社会の連携協働の在り方」研究発表会を竹野活性化委員会と共催で開催するなど、引き続き地域連携を通して児童の表現力等の育成に努めている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 「竹野サロン出前発表会」…地域住民が気軽に集える場所「竹野サロン」（毎週木曜日オープン）にて、年間5回学年別に児童が学習に関する発表会を実施
- 「音楽と地域連携」…児童の美しい歌声を地域の場で発表することにより、児童が地域住民から褒められ自己有用感を高めることができている。そのことが、他の教科学習においても大きな成果をもたらしている。
- 「知る区ロード」…2回実施したうち、1回目は児童と地域住民が地元を探索した。2回目は、「竹野サロン」に来ておられない（来ることができない）お年寄りの家を訪問した。お年寄りにとっても喜んでもらえたことにより、児童は達成感を味わった。
- 「6年生と共同で卒業制作」…地元の陶芸家の協力を得ながら校舎の軒下にパン窯を作成した。地元住民や卒業生を招き、火入れ式をした後に、ピザやクッキーを焼いて窯の完成を祝った。
- 「バス出前授業」…地域を支える路線バスを学校と近隣の施設に出向かせ、バス内の優先座席や車いすの固定等についての学習や地域を支える路線バスがなくなったらどうなるのか考えた後すぐに、「ようこそ1年生遠足」として路線バスに乗って地域の公園に向かった。バスには地域住民も一緒に乗車し、学習したマナーを実践した。
- 「学校説明会」…移住希望者向けの学校説明会を開き、校舎などの設備だけではなく、京丹波町子育て支援の優れた施策の紹介や地域活性化の拠点としての役割も紹介し、家族連れに移住先としての魅力もPRした。
- 「ふるさとノート」…1学期終業式に、活性化委員会が作成した「ふるさとノート」を全校児童に贈った。ふるさとを思う心を育てるために、ノートの表紙には校章と全校児童の写真をあしらい、裏面には竹野地区の人口や面積、歴史などを掲載し、夏休みからの活用を期待している。また、先述の学校説明会の参加家族にも配布した。

【実施に当たっての工夫】

- ・竹野小学校のホームページに、竹野活性化委員会ホームページをリンクさせ、頻りに更新することにより、取組の情報を発信するとともに、竹野のよさを外部発信し、竹野地区に興味・関心をもつ人を増やし、地区以外の人にも事業に取り込もうとしている。
- ・活動の案内チラシを小学校と活性化委員会連名で作成し、児童と地域に配布している。
- ・小学校と活性化委員会が連携・協働を密に取り合い、地域住民と参加できる創意工夫のある新しい事業を展開している。
- ・学校支援活動だけでなく、移住希望者への学校説明会を共同で行うことにより、地域の活性化にも繋げようとしている。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・地域住民との様々な交流を通して、児童は、地域の一員としての意識を高めるとともに、コミュニケーション能力が育成されている。
- ・児童が地域住民から感謝されたり、褒められたりすることによって自己有用感を高め、学習意欲や社会性が向上する等、教科学習においても成果を表している。
- ・創意工夫のある多様な学校支援活動が地域の特色となり、移住希望者が見学に来るなど、地域の活性化に繋がっている。

● その他

地元（京丹波町）教育委員会指定事業「地域と連携した学校教育推進事業～学校を核とした地域創生事業～」の指定を竹野小学校が受け、今後も創意工夫のある多彩な事業展開が期待される。



「竹野サロンでの交流」



「学校説明会」